

# ブルーヒンメル

## 猪名川町青少年健全育成推進会議広報紙



【目次】	① 第4回猪名川町青少年フォーラム INAGAWAスマホサミット2016	P.2・3
	② SWING-BYの取り組み (スマホ・ステージ・ボランティア)	P.4-6
	③ 全体会「生き活き まちづくり 人づくり」講演会、「LINE」研修会	P.7
	④ 猪名川町青少年健全育成推進会議の1年	P.8

# しっかり顔を見て、話をしよう

発行／猪名川町青少年健全育成推進会議  
 会長 太田 はるよ  
 連絡先／猪名川町地域振興部参画協働課  
 (電話) 072-766-8783



「日本の未来を担う  
子どもたちと共に」

猪名川町青少年健全育成推進会議  
会長 太田はるよ

平素より当推進会議の活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申しあげます。  
 当推進会議は、地域の大人、小中高校の先生、PTA役員などで構成された社会教育団体で、「しっかり目を見て会話しよう」「信頼される大人になろう」を活動方針としています。

近年、青少年を取り巻く社会環境についての様々な問題が取り上げられていますが、一体何が原因なのでしょう？時代の移り変わりとともに子ども達が変わったのでしょうか？私は、いつの時代においても子ども達は何も変わっていないと思います。ただ、生まれてきた社会環境が便利で何でもすぐに手に入るバイキング状態だけ。深夜でも開いているコンビニで仲間とたむろし、1人でないことに安心するという若者たち。

そして、子ども達の見本になるべき大人が忙しく、子ども達が社会に出るまでに必要なことをゆつくりと教えられる時間がない。  
 時間に追われ、大人も子どももせっかちになっているような気がします。

そんな環境の中で生きていかなければならない目の前の子ども達のためにできることは何でしょうか？  
 子ども達にはチャレンジする勇氣や失敗する「経験」、仲間と協力して物事を成し遂げるといった「体験」が必要です。そう言った「体験」が多ければ多いほど、将来、親元を離れ社会に出て壁にぶち当たりくじけそうになった時に、乗り越えることができるのだと思います。

そんなたくましい子ども達を作る日本の未来は素晴らしいと確信します。  
 そのために私たちにできることは？それは「ネットワークの構築」です。小さな点から線へ、線から面へとつながっていくことです。「地域」「学校」「家庭」「行政」が一体となり、連携をとりながら各々で実践し、さらに「地域の大人たち」が、いろんな角度から子ども達を守るだけでなく支えていくことが必要です。そのためにも当推進会議は「おせっかいな大人」として子ども達と共に活動してまいりますので今後も活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

子ども達が生まれ育ったふるさとをいつまでも大好きでいられますように…



# Inagawa スマホサミット 2016

主催 猪名川町青年会  
共催 KDDI株式会社  
株式会社KDDI研

Inagawa

# スマホサミット 2016

## 第4回青少年フォーラム

第4回猪名川町青少年フォーラム「NAGAWA スマホサミット2016」がイナホールにて開催された。

SWING-BYが取り組んできた「スマホの公開模擬授業」と「勉強サポートアプリ」の完成披露、「高校生と大人の公開討論会」が行われ、280名が参加した。

- ① リアルのコミュニケーションを大切にしよう  
〜顔を見て、直接話そう〜
- ② 自分たちでルールを考えよう  
〜小学生9時 中学生10時がめやす〜
- ③ 投稿前には立ち止まって考えよう  
〜フィードバックを利用しよう〜

という新猪名川版スマホのルールがSWING-BYにより提案された。



## 公開授業

SWING-BYから  
小中高生に伝えたいこと

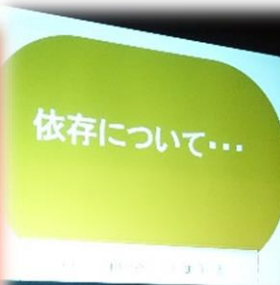
高校生が先生となり、小中学生の児童・生徒約30名にスマホの授業を行った。昨年とは内容を新たに「ウイルス」や「依存」についてビデオ教材を駆使したわかりやすい授業となった。もしスマホなどで困ったことがあれば身近にいる大人に相談することを子どもたちに訴えた。子どもたちの感想にも「知らないことを知ることができてよかった。」など便利なことだけではないことを意識づけることができたようだ。

覚えておいてほしいこと

- ・ 事故にあつてからでは取り返しのつかないことになってしまいます。
- ・ スマホに夢中になりすぎず、周りのことをしっかり考えて行動しよう。



また、会場にはこれからスマホの問題について取り組みを進めようと言われている方もおられ、非常に参考になったと感想を述べられていた。



# アプリ完成披露

研究開発中のアプリはまだ非公開なので、機能限定版として、SWING-BYの皆さんとのコラボ企画のアプリをリリースすることにしました  
 SWING-BYの皆さんが生み出した、オリジナルキャラ、猪名川の人気もの「スマホくん」も登場します！

アプリの詳しい使い方は、SWING-BYの皆さん、詳しくお問い合わせください。



「勉強うながしホーム」SWING-BYとKDDIのコラボアプリである「勉強うながしホーム」がついに完成。  
 正しい使い方をしているとスマホくんが健全に成長する。しかし、長時間のゲームや『LINE』などのアプリに依存するような使い方をする、あるいは不思議、スマホくんがグロしてしまうのだ。  
 会場には早速アプリをダウンロードして使ってみる人の姿も見られた。



コラボレーション!!

勉強うながしホーム  
 (猪名川町青少年健全育成推進会議コラボ版)



# 公開討論会

『フィルタリング機能の利便に関するアンケート調査結果』の報告に基づき、高校生と大人による公開討論会が行われた。  
 その中で話題に上がったのは、**猪名川町のフィルタリング率が38.5%**であり、兵庫県のフィルタリング率の平均50.2%（2014調査）を大きく下回っていることであった。SWING-BYのメンバーはフィ



大人の  
 気持ち



子ども  
 の気持ち

ルタリング率の向上を目指すし、どんなことができるかを考え、KDDIやドコモなどの協力を求め、答えを模索する様子が伺えた。  
 また、アンケートから**1日の時間以上スマホを使っている子どももまた増加し、「1時より遅くまでスマホの電源を切らない」「勉強に自信がない」という傾向がある**ことがわかった。





# 新たな挑戦!

## 総勢3500名のスマホの授業

子ども若者のネットやスマホに関する研究をスタートし、3年目を迎えた平成27年度は、これまで積み重ねてきた研究結果の一つの形として、スマホの模擬授業を町内外の小中学生や地域の大人たちに対して実施した。SWING-BYが行った授業は**総勢3500名**を超える児童・生徒・地域の大人達が受講し、各方面から高い評価を頂いた。



スマホ部会

スウェーデン

## 日本×瑞典高校生が交流

スウェーデン高校生起業家 (Chelos) が

緊急来日!〜

平成27年6月、それは一本の電話から始まった……。

SWING-BY実行委員会は今後の活動内容を大きく左右する一つの申し出を受けることとなった。スウェーデンにおいて青少年のネットやスマホの正しい利用についての取組を行っている高校生起業家3名との交流の打診である。

8月にはスウェーデンより高校生起業家3名が来日し、双方の取組について意見交換を行う形で、交流会を実施した。双方において共通した自分たちの取組成果と感想は「高校生が年齢の近い小中学生へスマホやネットの危険性を周知する授業を行うこと」であり、「大人や学校が教えるよりも児童・生徒の理解度が全く異なる」点について、双方一致した取組を実施している事であった。

しかしながら、異なる点としてはスウェーデンでは「男女別で個々に授業を行うスタイル」としたことに対し、我々は、「男女一緒に授業を受けるスタイル」であり、これはお国柄や風習の違いが大きく出たものであると結論付けられた。

この交流会において、SWING-BYと来日した高校生は「ネットやスマホ利用で若者が悲しい思いをすることが少しでも減るよう、活動を続けながら**も共に世界へ発信していく事**」を固く約束した。





# ステージ部会の取り組み



# 音楽から若者が導く

# 未来の「猪名川町」



昨年8月30日、若者が中心となって企画・運営する音楽祭オールジヤナルフェス「SWING-BY」が無限への挑戦」がイナホールで開催された。

開催テーマ

『Thanks to connection 繋がりに感謝を』

を掲げ猪名川町全ての人々との繋がりに感謝し、Connection tree「繋がりの木」を出演者・来場者皆の手形で作りあげた。ステージではバンド・ダンス・ダブルタッチなど様々な若者達が出演し、彼らが原動力となり人々に日頃の感謝の気持ちを伝えるステージとなった。



# 若い発想力貪欲に

## ボランティア部会

ボランティア部会は、SWING・BYプロジェクトの精神に則り、年間を通じて、

早朝の「駅前挨拶・清掃活動」をはじめ、ステーション部会と連携した地域における「音楽・出店活動」や、福祉施設での「音楽・対話活動」など若者の持つ行動力を存分に発揮し、精力的なボランティア活動を地域で展開した。

また、SWING・BY実行委員会の活動を広く周知・発信するため、新聞「よりみち」を発行し、公的施設の協力によって案内板に掲示してもらったなど、活動の認知度を

高める広報活動にも取り組んだ。失敗しても、周りや人のせいにはしない前向きな姿勢が地域から高い評価を得ている。



未経験者ばかりで挑戦した「餅つき大会」(松尾台)

## 笑顔で地域を元気にするぞ 失敗しても決して周りのせいにはしない

若者たちの活動は、平成27年9月より三期目に入ったが、その行動力と発想は従前より増して貪欲化。「僕たちの笑顔で地域を元気に」を合言葉に、これまでの諸活動を尊重しつつも、今後は地域に向いて「若者が作る餅を食べてもらうイベント」の開催や元気をだしてもらったための音



ゴミ袋が枯葉で一杯となった側溝清掃 (日生中央)



地域の住民運動会での演奏活動 (楊津小学校)

楽活動を病院や高齢者施設で展開したいとの意向を示している。このため、平成28年1月には、松尾台つぐいす池公園において「餅つき大会」が試行的に実施された。

### <清掃ボランティア>

- ・早朝日生中央駅前清掃 (原則、毎週二回)
- ・六瀬地区河川敷清掃活動 (平成28年2月)

### <福祉ボランティア>

- ・ゆうあいセンター訪問 (平成27年8月)
- ・介護施設「オアシス猪名川」(平成27年6月)

### <行事ボランティア>

- ・ほたるのタベ「出店&演奏」(平成27年6月)
- ・楊津盆踊り「ヨーヨー釣り出店」(27年7月)
- ・日生夏祭り「フランクフルト出店」(同上)
- ・若葉夏祭り「準備&バンド演奏」(27年8月)
- ・楊津運動会「アトラク出演」(27年10月)
- ・若葉X'masコンサート出演 (27年12月)

### <広報紙「よりみち」の発行>

- ・よりみちNo.2 (平成27年4月)
- ・よりみちNo.3 (平成28年1月)

# 生き生き まちづくり いくいく

## 校区委員会全体会

11月26日に第二回全体会において、講演会が開催された。

講師は「篠山市青少年健全育成推協議会会長」や「兵庫県交流広場全県連絡協議会副議長」をされ、また東日本大震災後は定期的に現地に赴き、ボランティア活動をされている向井祥隆先生をお招きし、「生き生き まちづくり」をテーマに御講演いただいた。

特に印象に残ったのは、ボランティアとは傲りがあってはならず、また受ける側との関係において、50・50の関係でなければならぬことや、相手の気持ちや立場を考えながら行動しなければならぬことである。



知らせたり」「教えられたり、教えたり」「助けられたり、助けたり」人と人とのつながりの大切さを改めて感じた。

みんなで考える

情報モラルとコミュニケーション

〔LINE〕

P T A 連合会の皆さんとともに子どもたちが利用しているアプリ「LINE」について学んだ。

LINEでは、身近な人とテキストメールやスタンプで感情豊かなコミュニケーションが可能。複数の友人間でひとつのトークをおこなう「グループトーク」や、LINEの友だちと無料で通話できる機能など、家族や友だちなど、知っている人とのコミュニケーションをより豊かにするためのアプリである。

その「LINE」を中心に、インターネットのコミュニケーションについて、グループで話し合い、考えた。

「すぐに返信がない」「話をしている時にケータイ・スマホをさわっている」「自分が一緒に写っている写真を公開される」などのカードを使い、自分にとって嫌なことから順に並べていった。それをグループで見せ合ったが、一人ひとり考え方や感覚が違っていた。



その違いが、トラブルにつながっていることに気づくことができた。

またインターネット上の書き込みは、全世界に公開される可能性があること、一度発信した情報は取り戻せないこと、匿名で発信しても調べればわかること、発信した情報は容易に拡散することなどを知って利用することが大切だと学んだ。



# 青少年健全育成推進会議の一年

【平成27年度年間活動口誌】

- H 27.5.21 第1回全体会（各校区委員選出）
  - H 27.6.6 平成27年度総会（活動方針など）
  - H 27.6.13 ほたるのタベ（パトロール&模擬店）
  - H 27.8.30 S W I N G ・ B Y ～無限への挑戦～
  - H 27.11.3 子ども・若者健全育成月間啓発活動
  - H 27.11.26 第2回全体会
  - H 27.12.12 講演：「生き生き 人づくり まちづくり」
  - H 27.12.15 スマホアプリ制作中間報告会
  - H 27.12.15 校区委員会
  - H 27.12.15 講演：「みんなで考える
  - H 28.3.6 第4回青少年フォーラム
- 情報モラルとコミュニケーション」
- 【その他の活動】
- ・役員会（毎月）
  - ・各中学校区委員会（随時）
  - ・ブルーヒンメルの発行
  - ・青少年指導員としてのパトロール
  - ・阪神間及び町内の関係団体主催行事への出席
- 【連携活動】
- ・猪名川町青少年問題協議会（年2回）
  - ・こころ豊かなまちづくり推進協議会
  - ・地域安全推進協議会
  - ・木津総合会館運営審議会



## 編集後記

猪名川町青少年健全育成推進会議の活動はS W I N G ・ B Y の若者たちの歩みによって刺激を受け、より活性化されている。S W I N G ・ B Y の部会の一つであるスマホ部会ではスマホのいいところ、危険なところなど、自分たちの知識を後輩である小中学生に伝えることで猪名川町を、地域をよりよくしようとしている。スマホサミットを終え、目下猪名川町のフィルタリング実施率の向上を目標に取り組んでいくようだ。また、ステージ部会は次の夏のオールジヤナルフェスに向けて動き出している。そして、ボランティア部会では、朝の清掃活動だけでなく、地域に笑顔を届けるために餅つきイベントなどを企画中である。動き出した子どもたちに限界はない。飽くなき挑戦を続けていくことだろう。

「若者たちのがんばりに負けぬよう、我々大人も猪名川町の、地域の、家族の、だれかのためになる行動を起こして行こう。」

住みよい町を作り出すのはそこに暮らす私たちのちよっとした善い行いなのだと確信している。

（広報委員 K）